



春のはじめに・・・



まだまだ寒い日が続きますが、梅のつぼみもほころびはじめました。女の子のいる家庭では、そろそろひな人形をかざり始める頃ではないでしょうか。二十四節気のひとつ「雨水」(今年2月19日)は、雪から雨にかわる日とされ、この日にひな人形を飾ると良縁に恵まれるという言い伝えもあります。

女の子の成長と幸せを祝い、「桃の節句」とも呼ばれるひな祭り。桃の木には、邪気を払う力があり、桃の花が咲く時期とも重なるので、節句を祝うのにふさわしいと考えられ、このように呼ばれるようになったと言われています。

ひな飾りのひとつ、三色のひし型の餅を重ねたひし餅。色の意味には諸説あり、緑は「健康や長寿」、白は「清浄」、桃色は「魔除け」を意味する説と、緑は「大地」、白は「雪」、桃色は「桃」で、雪が解けて大地に草が芽生え、桃の花が咲くという意味が込められているという説も。親が娘の健康を願う気持ちが込められています。また、ひな人形は「啓蟄」(今年3月6日)に片付けると良いという言い伝えもありますが、遅くとも春分までには片付けましょう。よく「早くしまわないと、嫁に行き遅れる」という迷信がささやかれますが、早めに片づけることで「厄払いをして不幸を遠ざけるため」「きちんとした娘にしつけないから」「早く幸せになって欲しいから」など様々な意味があるようです。

由来を知ると、私たちもこのような願いをこめて大切に育てられてきたと、改めて実感できますね。

みなさんは普段どれくらい自分の言動を意識して、お仕事をしているのでしょうか？

2つの事例を通して、振り返ってみましょう。

「見られていませんか？ その癖と態度」

事例：外来の患者さまからの投書

「長時間待たされているときに、診察室の前で、職員が腕組みして立っていました。患者を待たせているにもかかわらず、あの態度はどうかと思います。」

患者さまやそのご家族は、職員のちょっとした態度に対して、腹立たしい気持ちになることがあります。自分の態度や癖を意識してみましょう。無意識に腕組み、足組みなどをしていませんか？横柄な態度と受け止められることがあります。人前に立つときは、背筋を伸ばして肩の力を抜き、かかとをつけ、指を揃えて前で組む待機の姿勢を心がけましょう。

「聞かれていませんか？ その話と笑い声」

事例：入院中の患者さまからの苦情

「職員の話し声がうるさくてたまりません！ 大声で笑ったり、仕事なのに遊びに行く話を楽しそうにしているんですよ。何とかしてほしいです。」

カウンターの向こう、カーテンの後ろなど、患者さまの視線がさえぎられている場所でも職員の会話が聞こえていることがあります。笑い声を耳にする自分のことでは？と不安になります。もちろん職務上知り得た情報を外で話すことは、もってのほかです。院外での会話にも注意しましょう。